

平成三十一年度

群馬県立女子大学 文学部 総合教養学科

推薦入学試験問題

## 小論文

試験時間は、九十分です。中途退室は認めません。途中で気分が悪くなった場合は、黙って手を上げてください。

問題用紙は二枚です。他に下書き用の白紙が二枚入っています。

解答用紙は二枚あります。それぞれが配られたら、指示に従って解答用紙の所定の欄に受験番号、氏名を記入してください。

試験開始の合図があるまで表紙をめくって問題を見てはいけません。

解答用紙の所定の欄に受験番号、氏名を記入し終えたら、静かに試験の開始を待ってください。

【問い】

以下の文章は『この世界が消えたあとの科学文明のつくりかた』という本の一部です。著者が提起している問題をとらえたうえで、社会を再びつくり出すために必要だと思われることは何か、あなたの考えを論じなさい（1000字以内）。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

こちらの部分は、著作権の都合により、ウェブサイトでの公表はしていません。

出題者注

(1) ホメオパシー…同種療法、同毒療法、同病療法。日本学術会議などによれば、その治療効果は科学的に否定されている。

ルイス・ダートネル著『この世界が消えたあとの科学文明のつくりかた』（東郷えりか訳、河出書房新社、二〇一八年）



